はじめに …… i

第１章　アジアの法発展と日本の役割 …… 1

1. 本書の目的―日本の経験知とアジアの出会い― 1

（1） アジアにおける法整備の文脈 1

（2） 主体性と受容性 4

（3） 規範体系の安定と変化 6

（4） 実定法と慣習法の架橋 8

2. 本書の方法―「法と開発」研究の新たな模索― 10

（1） 法と経済学のアプローチと限界 10

（2） 法社会学のアプローチと限界 12

（3） 比較法学のアプローチと限界 13

（4） 融合的方法による「法と開発」研究 15

第２章　事例にみる法整備現場の課題 …… 23

1. 主体性と受容性―カンボジア支援からの示唆― 23

（1） 日本の民法典支援とドナー間対立 23

（2） 法整備を既定する開発理論―土地法の場合― 26

（3） 新自由主義開発理論の顛末 28

（4） 示唆：法の移植の主体性回復へ向けて 30

2. 規範体系の安定と変化―ベトナム支援からの示唆― 31

（1） 社会主義憲法と市場経済化 31

（2） 民法典規範の継続的発展に向けられた日本支援 34

（3） 判例参照システムの動態 37

（4） 示唆：規範体系支援の醍醐味 38

3. 実定法と慣習法の架橋―インドネシア支援からの示唆― 39

（1） ドナー支援が深める法的多元主義 39

（2） 慣習法を包摂する実定法の再構築 42

（3） 日本の司法型 ADR 支援 43

（4） 示唆：生ける法の法典化へ向けて　*46*

第３章　モデル法の形成過程と実像――主体性回復への課題――　……　*53*

1. モデル法をめぐる論点　*53*

（1） グローバリゼーションとモデル法　*53*

（2） 手続的正統性と内容的妥当性　*55*

（3） アジア危機とモデル法　*56*

2. 形成過程の手続的正統性　*58*

（1） モデル法導入会議　*58*

（2） UNCITRAL 立法ガイドの手続過程　*59*

3. 実体的内容面の妥当性　*60*

（1） 米国型モデルとその修正　*60*

（2） 倒産法モデルの内容的相違　*61*

（3） 担保法モデルの内容的相違　*63*

4. アジア危機諸国のモデル法への対応　*65*

（1） コンディショナリティとモデル法の実相　*65*

（2） 改革諸国の対応　*67*

（3） ポスト・ワシントン・コンセンサスと裁量主義への懸念　*73*

第４章　ベトナム民事訴訟と裁判動態――規範体系の模索――　……　*79*

1. ベトナム民事訴訟の基礎知識　*79*

（1） 制度面と動態面の観察のために　*79*

（2） ベトナム民事訴訟制度の経緯　*80*

（3） 民事訴訟法典の体系的意味　*81*

（4） 司法制度の体系的位置　*84*

2. 当事者主義をめぐるモデル対立　*85*

（1） 米国の当事者主義モデル　*85*

（2） ソ連ロシア型モデルの実像　*89*

（3） 日本モデルとは何か　*92*

3. ベトナム民事訴訟法典の性格　97
（1） 事実概念の不在　97
（2） 糾問主義による事実認定　99
（3） 証明の困難を避ける和解促進　101
（4） 判決審査基準―統一的法適用 v. 法解釈―　103
4. 民事訴訟のミクロの動態―裁判傍聴・裁判官面接―　106
（1） 弁論なき和解的裁判　107
（2） 形式的意味の当事者主義　111
（3） 不可避の和解勧試　112
（4） 理由を書けない判決書　117
5. 監督審決定判例集の事例検討　119
（1） 監督審判例公開の二面性　119
（2） 2004 年民事訴訟法典前の監督審傾向　122
（3） 2004 年民事訴訟法典後の監督審傾向　124
（4） 下級審の法解釈と限界　126
6. 示唆：日本からの司法支援の今後　127

第５章　紛争解決制度の選択肢――生きた慣習規範の吸上げ――　…… 139
1. 訴訟・調停・仲裁　139
（1） 紛争解決を通じた実定法修正　139
（2） 規範を架橋する制度条件　141
（3） 裁判官主体型モデルの汎用性　143
2. 訴訟―日本の司法の制度経験―　144
（1） 近代化で残ったもの―地租改正を経て―　144
（2） 民事的権利 vs. 商事的権利　145
（3） 共同体的権利 vs. 開発国家　149
（4） 開発国家における司法の役割　153
3. 調停―トランスフォーマティブな紛争解決―　154
（1） 裁判官主導型の和解・調停への期待　154

（2） 全人民の利益 vs. 共同体秩序　*156*
（3） トランスフォーマティブな和解技術論　*159*
4. 仲裁―アジア諸国の政策選択―　*162*
（1） 治外法権を阻む仲裁法　*162*
（2） 国内紛争解決を促がすメカニズム　*164*
（3） 仲裁・裁判・調停の交錯―規範修正への柔軟性―　*165*
5.「逆円錐型」の紛争解決制度の理解へ向けて　*167*

おわりに　総括――アジアの法整備と法発展――　…… *173*